

つくば日中協会ニュース

(筑波日中協会会報) 第17号

No. 17 (2012.10.13)

発行：つくば日中協会

事務局：〒305-0031 茨城県つくば市吾妻4-13-21 (川久保気付)

Tel&Fax 029-851-4619

巻頭言

つくば市長/つくば日中協会名誉会長 市原 健一

「つくば日中協会ニュース第17号」の発行にあたり、ごあいさつを申し上げます。

つくば日中協会様におかれましては、日中両国の皆様が役員となって運営にご尽力される中、市内に住む中国の方々との友好交流活動を幅広く行っていることに対してまして、心から感謝申し上げます。

なかでも、平成9年から行っている中国語講座については、入門から上級コースまでの5段階に分けて多くの方々が参加し、楽しく交流を深めながら学んでいるということで、ここまで16年間続けて来られました事務局の皆様には、重ねて敬意を表するものであります。

さて、つくば市では、昨年末、国の進める国際戦略総合特区の指定を契機に、さらなる市の国際化に向け積極的に取り組んでいるところです。この取組は、つくば市において国籍を問わず生活する人々が、快適で不便を感じることはない魅力あるまちづくりを目指すもので、具体的には公共施設における看板等の英語併記をはじめ、中国語等外国語広報紙（6言語）の毎月発行や、中国語・英語で応じる生活相談などの事業を進めています。

また、ご存じのように、つくば市は中国・深圳市と2004年に友好都市協定を締結して、これまで様々な交流を行ってまいりました。今年の11月には、中国国内で最大規模を誇る「中国ハイテク・フェア2012」及び「深圳市国際シンポジウム」が深圳市内で開催されます。つくば市では、上記特区での取組を紹介するブース出展を行うとともに、私もお招待を受けたことから、シンポジウムでは、この国際戦略総合特区を契機とする新たなまちづくりについてのスピーチを行う予定であります。

今後、つくば市が国際拠点都市として大きく発展をしていくには、経済大国として躍進しつつある中国の存在を抜きにすることはできず、深圳市においても、この機会につくば市を大いにアピールできればと考えております。

最後になりましたが、つくば日中協会様のこれまでの活動をいかして、より一層のご活躍を期待するとともに、あわせて会員の皆さまのご健勝をお祈りしまして、ごあいさつといたします。

ご報告**平成23年度における「つくば日中協会」の活動の概要**

つくば日中協会では、例年どおり、市民向けの中国語講座の開催、中国からの留学生との交歓を目的とする諸活動（筑波山登山、ホームパーティーの開催）を行ってきました。平成23年度における活動の概要は以下のとおりです。

1. 中国語講座の開催

中国語講座は、つくば市民を対象として、平成9年度から継続して開催してきましたが、平成23年度も以下の5つのコースを開講しました。

夜間のコース：入門中国語、初級中国語、中級中国語、応用中国語の4コース、

昼間のコース：新漢語コース

以上の合計5つのコースを平成23年5月から平成24年3月までの一年間にわたり市内数か所の公民館で開講しました。各コースの講師は、日本語の堪能な3名の中国人会員（入門：和泉田恵美(廖帥)氏、初級と中級：孟熙氏、応用と新漢語：李晶氏）に担当していただきました。中国語講座は例年は4月に開講されますが、平成23度は東日本大震災のため、5月の開講となりました。しかし、例年通り各コースとも合計40回の講座（各2時間）を開催することができました。各コースにはいずれも10名前後の受講生があり、熱心に中国語を学習しています。なかには、数年以上も継続して受講しておられる方も多数おられます。

2. 中国からの留学生との交歓会の開催**2. 1. 筑波山登山**

平成23年10月16日(日)に筑波大学の中国人留学生26名とつくば日中協会会員11名とで筑波山登山を行いました。当日は今にも降り出しそうな悪天候でしたが、7時半に筑波大学構内に集合し、8時半に筑波神社で全員の記念写真を撮り登山を開始しました。10時頃御幸ヶ原に着き食事。元気の良い人たちはこの間男体山を往復しましたが、視界が30mほどで景色がなにも見えず、全員の記念写真も諦めざるを得ませんでした。その後、一部の人はケーブルカーで下山、大半は弁慶の七戻りを経由して筑波山神社に下山しました。境内では名物のガマの油売りの口上はみることができませんでしたが、各種団体による踊りや太鼓の出し物があって賑わっており、たまたまこの催しに参加されていた岡田つくば市副市長のご一行と遭遇し、一緒に集合記念写真（次ページ）に収まりました。14時過ぎに筑波大学に戻る頃になると、天気予報通りの快晴となり、登山を無事に終了しました。悪天候のために1日順延しての登山でしたが、中国人留学生会の孟会長の機敏な連絡で、当初の希望者のほぼ全員が参加することができて、留学生の方々にも記憶に残る登山となりました。



筑波山神社にて

2. 2 ホームパーティーの開催

中国からの留学生に日本の家庭生活の一端を経験してもらうことを目的として、つくば日中協会会員有志のご自宅に中国人留学生を招待し、一緒に食事しながら歓談する催しを例年どおり開催しました。会員4名のご協力を得て、平成23年10月から12月までの間に、合計で13名の留学生を招待しました。

2. 3. 中国料理日中交歓会

平成22年度の総会（平成23年（2011年）6月11日（土）小野川公民館）終了後に、同所で中国料理日中交歓会が開催されました。これにはつくば市の岡田副市長と国際・文化課の沼尻氏や、総会には参加しておられなかった会員の家族や知人も参加され、総勢36名の参加者があり、たいへん盛会でした。不破会長の挨拶の後、岡田副市長のご挨拶があり、王幹事長の乾杯の発声で中国語料理日中交歓会が和やかに行われました。中国料理は川村幹事、不破（睦）幹事や会員の他に中国人留学生の方々が早朝から準備していただき、中国人留学生の腕自慢の方々の指導の下、6種類もの中華料理ができあがり、プロ級の腕前の美味しい中華料理を味わいながら楽しく交歓を深めることができました。

2. 4. つくば日中協会年忘れ交歓会

忘年会の季節には、「年忘れ日中交歓会」が平成23年12月17日(土)に「ゆかりの森・老人福祉センターとよさと」で開催されました。午前9時から王幹事長夫人を中心に筑波大学留学生40名と会員が一緒になって、この会の恒例となっている水餃子を作りました。この餃子のほかに、不破(睦)幹事や川村幹事が前夜から準備していただいた鶏の照り焼きやお汁粉や手巻き寿司なども揃い、お昼には全員で盛りだくさんの料理を食べながら交流を深めました。また、不破(睦)幹事の司会でゲームやビンゴゲームなども行いました。留学生による中国武術や日本人会員の太極拳の演武なども披露され、楽しい年忘れ交歓会となりました。この会には、つくば市からは岡田副市長や市会議員のヘイズ・ジョンさんもお家族連れで出席され、つくば市としても本会の活動に深い関心をもっていただいていることが感じられ、会員一同勇気づけられました。

2. 5. 日本料理講習会

この講習会も例年の行事であり、平成23年度は、中国人留学生(20名)を対象にして、平成24年1月22日(日)に小野川公民館の調理室で開催されました。川村幹事と不破(睦)幹事のご指導のもとに、代表的な日本の家庭料理を留学生と共に調理しました。日本人会員が料理の講師役を務め、海苔巻き寿司、鯖の煮付け、お吸い物などが完成し、和気あいの雰囲気の中、みんなで賞味しました。

3. 寧波工程学院訪問

かつて数年間、中国語講座の講師をしていただいた、楊豪傑老師が中国浙江省の寧波工程学院で教鞭をとっておられるところから、有志会員により同学院訪問ツアーが実施されました。つくば日中協会の役員と中国語講座受講生(計7名)で平成23年9月17日に成田を発ち、翌18日から23日まで寧波工程学院を訪問し、日本語学科の授業を見学したり、日本のゲームを学生達に紹介して交流したり、一緒に寧波の名所を見物して24日に帰国しました。学院に滞在中には、訪問団の内4名が色々なテーマで学生達に日本の事情を講義する機会も与えてもらい、非常に有意義な交流ができました。楊老師との縁もあって、先方の大学でもこの訪問を熱烈に歓迎していただき、一同感激させられたとのことでした。